

## 1. 第22回日本部会総会

すでにご案内のごとく、川原副会長の企画で、下の通り開催準備が進められている。

期 日 昭和49年11月22・23日(金・土)

場 所 大阪歯科大学本館1階大講堂

シンポジウム課題としては「齲蝕予防の基礎と臨床」が予定されている。また、今回以後、和文抄録集の発行が計画されている。そのため発表者には、J.D.R用の英文抄録と共に和文抄録も提出していただくことになる。

尚、申込演題が非常に多く、2日間の会期では消化不可能のため、一単位(講座など)で2題以上演題を提出された方々には1題のみ採択した点御諒解されたい。また、締切期限後に到着した演題も規定により採択しえませんでした。悪しからず御諒承いただきたい。

## 2. 日本部会 Secretary-Treasurer (1975-1978) 改選

部会報1974-2でお知らせの通り、理事会推薦候補一名を立て、これについて無記名投票を行なう。

推薦候補には田熊庄三郎現事務局長があげられたので、同封投票用紙を用い10月末日(消印有効)までに郵送投票願いたい。

## 3. 第53回 IADR 総会 (London, 1975/4/10~12)

本総会は北米以外の地で開かれる最初の IADR 総会である。

1978年総会の日本招致問題をかゝえて、河村会長と大西次期会長が日本部会の Representative Councilor として出席されるが、一般会員もできるだけ多数の出席が熱望される。

そこで、理事会は日本交通公社に4月7日～15日にわたる団体参加募集を検討させている。詳細が決まりしだい、全会員に連絡するので積極的参加を希望する。

発表演題申込締切は11月1日とし、演題多数の場合は支部と協力して数の調整をしたき旨、本部より連絡があった。

#### 4. Hatton Award Competition 参加募集

Hatton Award CommitteeのChairman, Dr. J. L. Matthewsより1975年London meetingにおけるCompetition 演題の募集通知があった。申込締切は11月1日。申込用紙を希望される方は河村会長あて急ぎ申し出られたい。

#### 5. IADR Bulletin (June 12, 1974) の誤記訂正

本部より送付の上記Bulletinに、1978年のIADR総会開催国として、South Africaが立候補している旨の報告があった。これについて、事務局より問い合わせた所、それは1981年の誤記で、次号のBulletinで訂正する旨回答があった。すなわち、明年以後のIADR総会開催予定地は次のようになる。

1975	London	1979	Continental Europe
1976	Miami	1980	Australia/New
1977	Copenhagen		Zealand
1978	Japan	1981	South Africa

## 6. The First Fifty-Year History of the International Association for Dental Research

上記書物が、Chicago 大出版局より発行された。総ページ417、写真多数、定価10ドルである。希望者には事務局よりまとめて取り寄せ配布するので、3,500円添付の上申込まれたい。なお、22回総会席上でも見本を展示の上、申込受付を行なう予定。

## 7. 1978年IADR総会企画委員会

第1回に続いて、第2回(49/6/1、阪大会議室)および第3回(49/8/29、グリーン・ホテル)企画委員会が開かれた。主な報告協議事項は下の通りである。

- (1) 会場候補の一つとして、大阪ロイヤルホテルが提案され、費用概算の提出方を同ホテルに求めることとなった。
- (2) 河村委員長は、白数日本歯科医学会々長と面会し、同学会の全面的協力を依頼した。なお、学術会議にもあらためて協力方を申し入れる予定。
- (3) 次回までに委員会の分掌事項を整理しいよいよOrganizing Committee発足の準備に当ることとなった。
- (4) 第4回委員会は11月21日(木)開催予定。